

平成28年10月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年3月14日

上場会社名 株式会社ジェネレーションパス 上場取引所 東
 コード番号 3195 URL http://www.genepa.com/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)岡本 洋明
 問合せ先責任者 (役職名)取締役 (氏名)鈴木 智也 (TEL)03(3343)3544
 四半期報告書提出予定日 平成28年3月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年10月期第1四半期の連結業績(平成27年11月1日～平成28年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年10月期第1四半期	1,517	30.4	31	241.3	32	288.2	21	291.0
27年10月期第1四半期	1,164	-	9	-	8	-	5	-

(注) 包括利益 28年10月期第1四半期 21百万円(291.0%) 27年10月期第1四半期 5百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年10月期第1四半期	10.49	10.45
27年10月期第1四半期	3.24	3.22

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年10月期第1四半期	2,181	1,525	69.9
27年10月期	2,017	1,499	74.3

(参考) 自己資本 28年10月期第1四半期 1,525百万円 27年10月期 1,499百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年10月期	-	0.00	-	0.00	0.00
28年10月期	-	-	-	-	-
28年10月期(予想)	-	0.00	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年10月期の連結業績予想(平成27年11月1日～平成28年10月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,592	-	120	-	121	-	76	-	37.36

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 第2四半期(累計)の業績予想は行っておりません。

3. 当社は、決算期変更(12月31日を10月31日)に伴い、平成27年10月期は平成27年1月1日から平成27年10月31日までの10ヶ月の変則決算となりました。これにより通期の対前期増減率については記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 ー社(社名)ー、除外 ー社(社名)ー
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年10月期 1 Q	2,061,510株	27年10月期	2,055,010株
-------------	------------	---------	------------

② 期末自己株式数

28年10月期 1 Q	30株	27年10月期	-株
-------------	-----	---------	----

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年10月期 1 Q	2,057,457株	27年10月期 1 Q	1,705,010株
-------------	------------	-------------	------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業務見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(当期の経営成績)

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による財政政策等の効果もあり緩やかな回復基調で推移しているものの、中国経済をはじめとした海外景気の下振れ、株価下落への懸念及び円安による原材料価格の上昇があり、先行きについては依然として不透明な状況が続いております。また、海外からの訪日観光客の消費が下支えする一方で、物価上昇が緩やかに継続していることに伴い、消費者の節約志向がますます強まる状況となっております。

このような状況の中、当社グループは、継続的なビッグデータの収集とその分析を進めることで、マーケットニーズに沿った「ECマーケティング事業」の展開を推し進め、売上と収益の拡大に取り組んでまいりました。平成28年1月31日時点における出店店舗数は合計で45店舗と引き続き増加しており、既存モールでは、当社独自の戦略であるEC Platform Optimization（以下「EPO」という）を推進し、集客と売上拡大施策を実施し増収傾向を維持しております。

海外事業戦略としましては、平成27年11月より越境ECとして中国の「KJT.com」（中国（上海）自由貿易試験区正定路530号）に出店し、中国EC市場へ参入しました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は1,517百万円と前年同四半期と比べ353百万円（30.4%）の増収となりました。損益面では、12月で過去最高の売上高を記録する等、ECマーケティング事業及び商品企画関連事業の売上高が好調に推移したことにより、営業利益は31百万円と前年同四半期と比べ22百万円（241.3%）の増益、経常利益は32百万円と前年同四半期と比べ24百万円（288.2%）の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は21百万円と前年同四半期と比べ16百万円（291.0%）の増益となりました。

セグメントの業績については、以下のとおりであります。

①ECマーケティング事業

ECマーケティング事業につきましては、継続的に収集されるビッグデータの分析に基づき各種マーケティング施策を実施し、売上拡大に向けて取り組んでまいりました。また、各モールにおける取扱商品数を増加させるため、新規取引先との契約件数を増加させたほか、商品の販売価格の見直しや自社スタジオ強化による商品コンテンツの拡充を図るなど利益率の改善を図ってまいりました。

また、平成27年11月から中国を対象とした越境EC事業に本格参入し、日本企業として初めて上海跨境通国際貿易有限公司が運営する中国のECモール「KJT.com」（中国（上海）自由貿易試験区正定路530号）へ新規出店し、運営を開始いたしました。

システム面では、当社が独自に開発したオペレーションシステム(GPMS: Generation Pass Management System)の機能改善や追加機能を実装するなど、売上拡大及び利益改善のための基盤整備を行ってきました。また、EPOを推進するためのビッグデータの収集及びその分析を行うシステム(MIS: Marketing Information System)の実装を進めてきたことにより、平成27年11月より解析情報の提供としてビッグデータ販売を開始いたしました。

以上の結果、売上高は1,349百万円と前年同四半期と比べ327百万円（32.1%）の増収、セグメント利益は61百万円と前年同四半期と比べ33百万円（121.2%）の増益となりました。

②商品企画関連事業

商品企画関連事業につきましては、AVラックやチェスト等の家具・雑貨の受注に加え、平成28年1月から商品の拡大として収納ベッドの受注が加わりました。収納ベッドの受注が好調に推移しているほか、商品の品質向上を図るために試作品作成や商品試験にかかるテストに力を入れ、さらなる受注獲得に向けて取り組んでまいりました。

以上の結果、売上高は164百万円と前年同四半期と比べ23百万円（16.7%）の増収となりましたが、試作品作成等に係る費用を計上したため、セグメント利益は11百万円と前年同四半期と比べ8百万円（43.7%）の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、2,181百万円となり、前連結会計年度末に比べ163百万円の増加となりました。

流動資産は2,141百万円となり、前連結会計年度末に比べ162百万円の増加となりました。主な要因といたしましては、売掛金が32百万円、商品が253百万円増加し、現金及び預金が163百万円減少したことによるものであります。固定資産は、39百万円となりました。

(負債の状況)

負債は、655百万円となり、前連結会計年度末に比べ137百万円の増加となりました。

流動負債は、653百万円となり、前連結会計年度末に比べ137百万円の増加となりました。主な要因といたしましては、支払手形及び買掛金が150百万円増加したことによるものであります。

(純資産の状況)

純資産は、1,525百万円となり、前連結会計年度末に比べ26百万円の増加となりました。主な要因といたしましては、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が21百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年10月期の通期の業績見通しについては、当第1四半期連結累計期間の実績が見通しに沿って推移しているため、平成27年12月15日に公表した業績見通しから変更はありません。

なお、業績見通しは、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因等により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表の組替を行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,009,512	845,645
売掛金	517,065	549,692
商品	393,269	646,949
仕掛品	1,181	8,130
繰延税金資産	6,080	2,701
その他	56,323	93,149
貸倒引当金	△5,059	△4,969
流動資産合計	1,978,374	2,141,298
固定資産		
有形固定資産		
建物	2,413	2,413
車両運搬具	17,768	17,768
工具、器具及び備品	4,052	4,302
減価償却累計額	△20,618	△20,948
有形固定資産合計	3,616	3,536
無形固定資産		
ソフトウェア	11,338	11,795
その他	23	23
無形固定資産合計	11,362	11,819
投資その他の資産		
投資有価証券	12,090	12,090
繰延税金資産	485	499
その他	11,923	11,877
投資その他の資産合計	24,498	24,466
固定資産合計	39,477	39,822
資産合計	2,017,852	2,181,121
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	305,110	455,424
未払金	171,025	170,366
未払法人税等	12,766	9,324
賞与引当金	—	1,783
その他	27,445	16,638
流動負債合計	516,347	653,537
固定負債		
資産除去債務	2,147	2,153
固定負債合計	2,147	2,153
負債合計	518,495	655,690
純資産の部		
株主資本		
資本金	622,112	624,387
資本剰余金	611,112	613,387
利益剰余金	266,132	287,713
自己株式	—	△57
株主資本合計	1,499,356	1,525,430
純資産合計	1,499,356	1,525,430
負債純資産合計	2,017,852	2,181,121

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年11月1日 至平成28年1月31日)
売上高	1,164,147	1,517,787
売上原価	850,081	1,086,390
売上総利益	314,066	431,397
販売費及び一般管理費	304,914	400,163
営業利益	9,152	31,234
営業外収益		
受取利息	21	1
為替差益	—	788
助成金収入	348	98
受取手数料	11	329
その他	169	411
営業外収益合計	551	1,629
営業外費用		
支払利息	185	—
為替差損	1,052	—
営業外費用合計	1,237	—
経常利益	8,465	32,863
税金等調整前四半期純利益	8,465	32,863
法人税、住民税及び事業税	2,275	7,917
法人税等調整額	670	3,364
法人税等合計	2,946	11,282
四半期純利益	5,519	21,581
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,519	21,581

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

	(単位：千円)	
	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年11月1日 至平成28年1月31日)
四半期純利益	5,519	21,581
四半期包括利益	5,519	21,581
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,519	21,581
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成27年1月1日 至 平成27年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ECマーケ ティング 事業	商品企画関 連事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	1,021,826	141,362	1,163,188	958	1,164,147	—	1,164,147
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,021,826	141,362	1,163,188	958	1,164,147	—	1,164,147
セグメント利益	27,960	20,205	48,165	132	48,297	△39,147	9,152

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソフトウェアの受託開発、システム開発事業及び思い出事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△39,147千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△39,147千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成27年11月1日 至 平成28年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ECマーケ ティング 事業	商品企画関 連事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	1,349,789	164,959	1,514,748	3,039	1,517,787	—	1,517,787
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,349,789	164,959	1,514,748	3,039	1,517,787	—	1,517,787
セグメント利益	61,838	11,366	73,205	1,038	74,244	△43,010	31,234

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソフトウェアの受託開発、システム開発事業及び思い出事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△43,010千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△43,010千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。